

授業科目	看護政策論	4 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		看護	選択

科目担当責任者	上田泉 (保健医療学研究棟 E104 号) e-mail : iueda@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(上田順子)、(伊藤新一郎)、(菊地みさき)		
概要	人々のニーズに応える質の高い看護を実現するためには、医療・看護に関する諸制度の改善・改革に取り組むことが求められる。また政策決定に参画することは、看護職が自らの能力を十分に発揮し社会に貢献していく上で必要不可欠である。本科目では、看護に関する諸制度を踏まえて我が国の医療・看護に関わる諸課題を理解するとともに政策決定に参画することの意義と役割、政策決定過程の概要を学習する。また、北海道の医療・看護が抱える諸課題と看護政策のあり方を知り、改善・改革の方向性を展望する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職育成の観点から見た看護制度を考察する。 2. 1970 年代以降の医療施策と看護施策の推移を学び、看護施策は看護の質をどのように左右するかを考察する。 3. 看護政策の決定過程を学び看護職の政策課題を考察する。 4. 北海道の医療・看護政策と看護職の役割を考察する。 		
関連科目	保健福祉行政論、健康管理論、看護管理論		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	80%	提出物：グループ学習の発表記録内容(20%)、最終レポート記載内容(60%)。 学習態度：グループ学習への参加状況と態度(20%)。レポート「看護政策の現状、課題と看護職者の関与のあり方」について。評価基準：文献等を用いて①現状と課題、②看護者の役割、③自分の感想と考察、①②③が明確に述べられているかどうか。
	学習態度	20%	
教科書	指定なし		
参考書	①中西睦子編 [2014 年] 「看護管理学習テキスト第 2 版第 7 巻 看護制度・政策論」 日本看護協会出版会		
履修上の留意点	下記スケジュールは学習の進捗状況等によって変更する場合がある。学習要項・グループ学習要領は別途配布する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	医療法の改正 看護職員確保の施策 医療機能分化政策 看護体制と料金体系の改革	事前：政策を復習しておく 事後：看護制度関連内容を復習	講義	上田
2	看護制度に関連する歴史的変遷	事前：看護制度を復習 事後：看護制度、施策内容を復習	〃	〃
3	政策の概念 政策決定・実行過程 ロビー活動	事前：施策の推移を復習 事後：看護制度関連内容を復習	〃	(伊藤)
4	政策に影響を与える諸団体の活動 専門職団体の役割、活動、今後の展望	事前：政策の概念、決定過程を復習 事後：諸団体の活動内容を復習	〃	(上田)
5	北海道の医療・看護政策 地域医療推進と看護職の役割	事前：看護政策を復習 事後：地域の看護政策関連内容を復習	〃	(菊地)
6	看護政策・施策に必要な能力である事業化の企画・評価、プレゼンテーション等の能力について学習計画を立てる。	事前：看護政策と看護職の役割を復習 事後：グループ学習のまとめ	グループ 学習	上田

7	看護政策・施策に必要な能力である事業化の企画・評価、プレゼンテーション等の能力について学習を進める。	事後：グループ学習のまとめ	〃	〃
8	プレゼンテーション・全体のまとめ	事後：グループ学習のまとめ	〃	〃